

# JOURNAL



表紙の写真:「地域での男女共同参画の取り組み」(8P)で紹介している男性の料理教室

## Contents

- 事業紹介… **男女共同参画サポーター養成講座** …………… 2
  - 多様な社会と男女共同参画 …………… 3
  - 明日の地域をデザインする
- 特集…………… **29年度男女平等推進センター事業計画** …………… 4・5
- 事業紹介… **女性のための就業支援講座** …………… 6
  - 男性の働き方・生き方講座
  - 知っていますか？ **LGBT**
- 相談室だより… **久留米市男女平等推進センターとは** …………… 7
- 男女平等政策課からのお知らせ… **日本は男女平等は111位**
- 地域での男女共同参画の取り組み …………… 8
- 図書情報ステーション… **多様な性を描いた絵本**

<http://www.city.kurume.fukuoka.jp>

2017  
vol.55



# 男女共同参画サポーター養成講座

平成28年8月～平成29年3月 全8回

市民の皆さんと一緒に男女共同参画を推進していくための新たな取り組みとして、市民自らが講師となり地域で啓発活動を行う「男女共同参画サポーター」の養成講座を実施しました。

参加者は、男女共同参画に関する様々な知識を深め、講演・啓発講座を行う際のワークショップの手法、プレゼンテーション技法の習得を熱心に取り組みました。講座風景の一部を紹介します。



他己紹介。お互いのことを知って仲間づくり☆



互いに意見を交わして…

かるた、紙芝居…研修教材はどれにしようかな



☺さんはこんな方ですよ

方言もあり。役になりきります

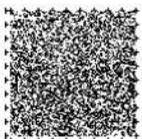


セリフを考えて  
寸劇の練習中!!



養成後は、  
サポーターの皆さんの  
協力を得て、地域での  
啓発活動を行って  
いく予定です。

私の啓発活動案を発表します…なるほど。それ、いいね





## 多様な社会と男女共同参画

～みんなの力をいかし挑戦をサポートする仲間づくり～

講師 寺崎里水さん 法政大学キャリアデザイン学部准教授 12月3日



自分が「普通」と思っていることと、他の人が「普通」と思っていることは違って、「価値観」や「考え方」も人それぞれ違いがあります。社会の中には自分と「違う人」がたくさんいますが、お互いを尊重し、排除せず認め合うことが大切であり、力を合わせることで大きな力となります。

家庭や職場、地域などで、さまざまな人たちがその人なりに頑張り、その頑張りをお互いが認め尊重し合う。そのような思いが繋がっていけば、誰もが心豊かに暮らせる社会になると思います。

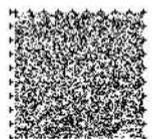
この講座では、体を動かしながらひとり一人の思いを認め合い、目標の達成に向けてみんなの力を生かし、チャレンジすることを学びました。

## 明日の地域をデザインする、意思決定過程への参画をめざして

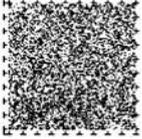
講師 萩原なつ子さん 立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授 1月21日



地域づくりを考えるにはまず自分が地域を好きになることが大切です。組織や社会の変革を待つのではなく、何かを変える主体に自分になるという意識が大切です。また公共・共助の社会とは、全ての人に居場所と出番のある社会、多様な人たちが参加・参画して地域の課題解決に取り組む社会のことです。さらに21世紀型リーダーシップに必要な資質は、つながり（人脈を築き保っていく能力）、共感（他者への深い理解につながる気配り）、信頼（信頼される実績と人柄）、寛容（すべての人や考えを受け止める在り方）、柔軟性（必要に応じて変化、順応する力）などと話されました。ワークでは「男女が生き生き暮らすにはどんな課題があるのか」を考え、参加者は「今日からできる取り組み」を宣言しました。







## 就業支援講座

☆就業をめざす女性を対象にパソコン技術講習と就職準備セミナーを開催しました☆



パソコン入門講座：11月9日より全3回  
パソコン基礎講座：11月15日より全10回  
日商PC3級検定対策講座：1月17日より全10回

就職に有利なパソコン技術習得の機会を提供して、女性の社会進出を応援する講座です。意欲に満ちた多くの方々が受講し、就職・再就職のためにスキルアップしました。

「面接はこわくない～あなたの魅力の伝え方～」  
11月29日  
「家庭も仕事もうまくいく思いやりコミュニケーション術」  
2月3日

就職活動に一步踏み出せるよう労働に関する法律や制度、コミュニケーション術など、社会人としての基本的マナーを学びました。

## ワークもライフも大切にする 男性の働き方・生き方

男性学の視点から男性の働き方や生き方を考える講座を実施しました。 2月10日

男性学とは男性が男性であるがゆえに抱える悩みや葛藤を対象にした学問です。日本の男性はフルタイムで働いて妻子を養うことが当たり前の感覚になっていて、このことを普通と考えることが問題。男性は家庭を持つと、「一家の大黒柱」と言われ、家計の責任を負う。教育費や家のローンを抱えていると、いくら仕事がつらくても、辞めるという選択はありえない。そうして、ついつい働き過ぎてしまう。この問題を解決するためには、性別にとらわれない多様な生き方の実現が必要。また、男性は結婚をゴールと考え「夫婦である」ことに安住して、「夫婦関係を築く」ことを忘れる傾向にある。よりよい夫婦関係を保つには、要件を伝えることを目的としたコミュニケーションではなく、相手との共感を目的としたコミュニケーションを取ることが必要であり、これには「聴く力」が重要なポイント。日頃の会話でも結論や答えをすぐに出すというよりも、会話を楽しみながらいい関係を保つように努めることが大事です。



講師：田中 俊之さん  
(武蔵大学社会学部助教)

## 多様な性を生きる人々 知っていますか？LGBT

2月25日



講師 小 岳 ローマさん  
(NPO法人Rainbow Soup代表)

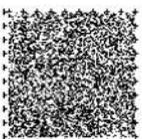
※LGBTとは、レスビアン（女性を愛する女性）、ゲイ（男性を愛する男性）、バイセクシュアル（男性も女性も愛する人）、トランスジェンダー（心と身体の性が一致しない人）の頭文字をとった総称。

近年、LGBTについて見聞きする機会が多くなり、一見LGBTの人が増えていると思われがちですが、これはカミングアウトをする当事者が増えているということです。

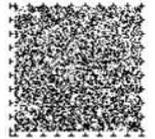
行政や企業では、同性カップルに対し「結婚に相当する関係と認める」といった取り組みが広がりつつあります。しかし、日本では、LGBTを含む性的マイノリティに関する法制度の整備は進んでおらず、当事者が安心して生きていける法的保障がありません。

私が同性愛者というだけで「女性であれば、どんな女性も性行為の対象とみている」、「女好きてことは男性になりたいの」などと、誤解や偏見を受けることがあります。私は自分が同性愛者と気づくまで葛藤し、長い間誰にも相談できずにいました。ある時、家族と一人の友達にカミングアウトし、何事もなく認め受け入れてくれたことがきっかけで、今の自分の活動に繋がっています。

当事者は、信頼関係を築きたいと思う人にカミングアウトを考えます。カミングアウトされたら、落ち着いて受けとめ共感し、理解者となってほしいです。また、当事者の存在に気付かないのと同様、当事者も理解してくれる人や支援してくれる人がわかりません。性的マイノリティのシンボルである6色のレインボーカラーを身につけ、理解者というサインを出してみたり、普段の会話の中でLGBTについて話してみたり、出来ることから取り組んでいただきたいと思います。



# 相談室だより



## 「久留米市男女平等推進センターとは…」

相談室には5名の女性の相談員がいます。相談室の休みは月末日、祝日、年末年始であり、それ以外は土、日も開いています。

相談室では、「女性の生き方を支援する」ことを基本に相談を受けており、相談者が直面している問題や気持ちをお聴きし、問題解決に向けて一緒に考え、必要な情報を提供しています。

DVや性暴力被害などの辛い体験を安心して話し、心が少しでも軽くなるように、自ら生き方を選択し、いけるように支援しています。

### ●生きづらさの主な原因は、ジェンダー

相談内容は、DVや夫婦問題、性暴力被害、職場や学校等でのセクハラ、パワハラ、子どものことなど多岐にわたっていますが、その多くにジェンダー（「男は仕事、女は家庭」といった社会が決めつける固定的な性別分業）による差別が見られます。

相談者の多くが、ジェンダーの縛りのために生き

る選択肢を狭められ、心が深く傷ついています。心が壊れそうになっています。

### ●エンパワーする女性たち

相談者がすぐに行動を起こすことは容易ではありません。けれども、何度も相談を繰り返す中で自分の人生を取り戻す方向を見定め、動き始めます。自分の力を信じて問題に立ち向かっていきます。

### ●女性たちと共に歩きたい！

相談件数は平成13年の男女平等推進センターの開設以来増え続け、近年は延1,100人の来所者、延4,500件の相談が寄せられています。

しかし、DVや性暴力の被害を受けている女性たちの多くが依然として声を上げることすらできずにいます。相談に結びつかないまま困難な生き方を強いられています。

相談室は、そのような女性たちとぜひ出会いたいと願っています。

～男女平等政策課からのお知らせ～

## 日本のGGIが、過去最低の111位

GGI（ジェンダーギャップ指数）は、各国の男女間の格差を数値化し、ランク付けしたものです。毎年、世界経済フォーラムが経済・教育・保健・政治の4分野から算出し、公表しています。2016年、日本は144か国中111位と昨年の101位から大きく順位を下げ、先進7カ国（G7）の中でも最下位を更新しました。

どうやって順位を決めているの？



経済分野：労働力率、同じ仕事の賃金の同等性、所得の推計値、管理職に占める女性の比率、専門職に占める女性の比率

教育分野：識字率、初等・中等・高等教育の各在学率

保健分野：新生児の男女比率、健康寿命

政治分野：国会議員に占める女性の比率、閣僚の女性の比率、最近50年の女性国家元首の在任年数

- 1位 アイスランド (1)
- 2位 フィンランド (3)
- 3位 ノルウェー (2)
- 4位 スウェーデン (4)
- 45位 アメリカ (28)
- 99位 中国 (91)
- 111位 日本 (101)

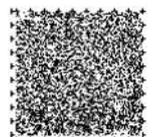
※ ( ) は昨年の順位

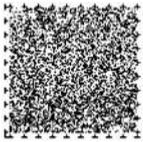
特に、日本は経済分野と政治分野で男女の格差が大きくなっています。経済分野では、働く女性の56.3%が非正規雇用であり、男性の賃金を100とした場合、女性の賃金は約70です。

また、政治分野では、国会議員に占める女性の割合が低く、女性首相を出していないことがマイナスの要因となっています。

性別に関わらず、誰もが希望する分野で輝くことができる社会になるように、皆さんも男女共同参画を進めていきましょう。

問合せ 男女平等政策課  
電話番号 0942-30-9044  
FAX番号 0942-30-9703





# 地域での男女共同参画の取り組み

地域での男女共同参画に関する取り組み事例を紹介します。

草野校区は特産品である柿をはじめ「久留米つつじ」や「久留米つばき」など久留米市を代表する緑花木の生産が盛んな地域です。今回は、草野校区まちづくり振興会の構成団体「食育推進クラブ」が取り組む「男性の料理教室」（1月21日開催）に訪問しました。

## ●「食育推進クラブ」の活動

「食育推進クラブ」は、地域の地産・地消の食材を使った食育活動に取り組む団体です。平成28年6月からは、まちの活性化を目的に、国の登録財産である山辺道文化館で週1回「くさの木春食堂」を開いています。

## ●「男性の料理教室」開催のきっかけ

「食育推進クラブ」の活動の参加者のほとんどは女性。「地元の男性にも食育に関心をもってほしい」「食事を作る楽しさや人に食べてもらう喜びを味わってほしい」と男性に参加を呼びかけ、今回の開催に至りました。同クラブ会長の井上慶子さんは「将来パートナーに介護が必要になった時やひとり暮らしになった時にもきっと役に立ちます。」と話されました。

## ●メニューは「しょうがご飯、すまし汁、八宝菜、鶏肉のソテー、温泉たまご」

料理教室では、井上会長などの説明に耳を傾けながら、慣れない手つきで楽しそうに調理に取り組んでいる姿が見られました。

参加者からは、「料理を作るのは初めて、これならできそう。家族のために作ってみたい。」「退職後、家事は分担をしている。妻がおいしいと言ってくると、また作りたくなる。」など会話が弾みました。



試食させていただきました。地域のぬくもりを感じるやさしい味でとてもおいしかったです♪

今回の取り組みが、家庭内の性別役割分担を見直すきっかけになるといいですね。

# 多様な性を描いた絵本

## 図書情報ステーション

性的マイノリティに対する差別や偏見をなくすためには、幼い頃から性の多様性への理解を育むことが大切だと言われています。生まれたときの性別と心の性別がちがってもおかしいことではないこと、性別にこだわらず人を好きになるのは自然なことであること、そして最後に「あなたはいつも自分らしくあればいいんだよ」とやさしく子どもたちに語り掛けてくれる絵本を紹介します。



### くまのトーマスはおんなのこ

ジェンダーとゆうじょうについてのやさしいおはなし  
ジェシカ・ウォルトン/さく ドゥーガル・マクファーソン/え  
ポット出版プラス 2016年

女の子になりたいとずっと悩んでいたくまのトーマス。ある日友だちの少年エロールにそのことを告白します。トランスジェンダーがテーマの絵本です。

### 王さまと王さま

リンダ・ハーン/絵と文 スターン・ナイランド/絵と文  
ポット出版 2015年

同性を好きになってもちっとも不思議じゃない! 王子さまと王子さまが結ばれるお話。LGBT(レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダー)をテーマにした絵本です。



### タンタンゴはパパふたり

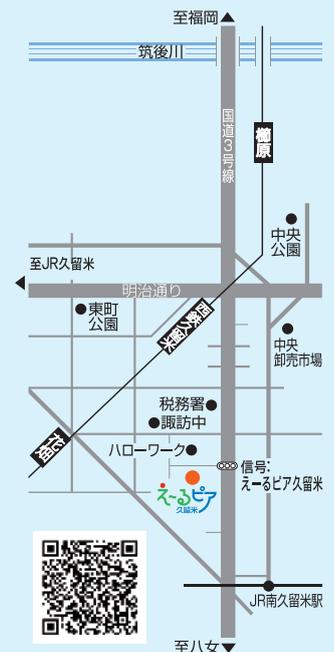
ジャスティン・リチャードソン/文 ピーター・パーネル/文  
ヘンリー・コール/絵  
ポット出版 2008年

動物園にはいろんな家族がいます。でも、ペンギンのタンゴの一家は、どの家族とも違ってました。タンゴにはパパがふたりいるのです。ニューヨークの動物園で本当にあったペンギンの家族のお話です。

●編集・発行●  
平成29年3月

## 久留米市男女平等推進センター

〒830-0037  
久留米市諏訪野町1830-6  
え〜るピア久留米内  
TEL. 0942-30-7800  
FAX. 0942-30-7811  
URL. <http://www.city.kurume.fukuoka.jp>  
E-mail. [danjo-c@city.kurume.fukuoka.jp](mailto:danjo-c@city.kurume.fukuoka.jp)



■徒歩/西鉄久留米駅から約10分(約700m)  
■バス/西鉄久留米駅から約5分  
JR久留米駅から約20分  
「税務署前」下車、徒歩3分  
■駐車場(有料)はございますが、おいでの際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

この会報誌は環境に配慮し、再生紙を使用しています。